

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 2024年3月29日

事業所名 こども発達支援 きらきらハート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	目的に合わせた空間づくりを行い、より良い支援に努めています。	活動に応じて室内の環境に配慮し、安全に過ごすことが出来るように支援しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%		指定基準を満たして運営しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	0%	バリアフリーであり、死角のない活動スペースとなっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	日々の支援を行う上で、PDCAサイクルを活用し、支援と情報共有を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者の方からのご意見等については、送り出し等での保護者からの声を職員間で把握し改善しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	評価については、会議を行い、その結果をホームページに載せています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	0%	100%		必要であれば、今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	研修は、随時行っています。コロナ禍だったこともあり、内部研修を行っています。	内部研修は、随時行っています。熱中症対策・てんかん発作時や感染症の対応等について定期的に行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	子どもや保護者のニーズを汲み取り、課題や目標の設定を行い、計画を立てています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%	施設内で統一した書式を使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	子ども達が楽しめるように、会議などを通して職員全員で取り組んでいます。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	一人一人に合わせた目標や課題を設定し、状況や状態、興味に合わせて固定化されないように工夫しています。また、集団療育・個別、季節に合わせた活動を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%	一人一人に合わせた目標や課題を設定し、継続的な支援を行っています。長期休暇には、外出や買い物体験等の活動も取り入れるようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	活動内容は、適宜組み合わせで行っています。一人一人の状況やニーズに合わせた療育内容を設定しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	毎朝ミーティングを行い、職員間で情報共有を行い、日々の支援に努めています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%	0%	退勤時間が異なるため、翌朝のミーティングの際に前日の確認と情報共有を行っています。気付いた点等は、退勤時に各自報告を行い、申し送りを徹底しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	日々の記録を具体的に記入することで、PDCAサイクルの確認、分析、評価に繋げることができています。より良い支援ができるように、日々努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	定期的に会議を実施し、支援計画の見直しをその都度行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	0%	療育活動や余暇時間等、子どもたちの発達段階に合わせた支援を行っています。	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	基本的に児発管が出席しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%	学校との連絡調整は、普段から密に行っています。学校のお迎え時や電話連絡等を通して、先生との情報共有を行うとともに適切に対応しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	0%	現在、対象児童はいません。受け入れる場合には、各機関との連絡体制を整えております。	医師より指示書をもらい、確認していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	0%	関係機関と連携を図りながら、情報共有と相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	0%	現在、対象児童はいません。必要な場合には、情報提供できる準備を整えております。	今後、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、情報提供を行い、移行支援を行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%	会議や研修等を通して連携を図っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%	現在は交流する機会を持っていません。	コロナ禍ということもあり、改めて機会を設けず、それぞれの所属先で交流を図っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	0%	代表者を決め、毎回参加しています。そこでの情報等は、後日全体で情報共有しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	子どもの様子は、連絡帳や送り出し、送迎時に具体的に伝えていきます。そこで、共通理解に繋げることができるように努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	57%	43%	0%	日々の様子を把握し、個別の相談の中で助言しています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に丁寧な説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	連絡帳や送迎の時などに相談にのっています。必要な時には、関係機関との連絡調整も行っています。また、個別の面談も行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	100%		今後の開催は要望に応じて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	その都度、速やかに対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	ホームページを作成しています。ブログの更新を行い、事業所内にも掲示し、活動の様子を発信しています。	ホームページを更新しています。定期的にブログの更新を行い、情報を発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	十分に注意し、取り扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	季節のお便り等を発行し、重要なことが保護者の方に分かりやすく伝わるように工夫しています。また、情報が正しく伝わるように、可視化やツールを用いる等の配慮をしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	14%	86%		今後は開催できるよう検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルについては、定期的にお便りを発行し、周知しています。また、防犯マニュアルについては、職員間で手順の確認を行っていきます。災害等の緊急連絡先として、携帯電話を設置しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	定期的に地震や火災を想定した避難訓練を行い、非常食の体験もしました。夏休みには、消防署の方に来ていただき、避難訓練や指導をして頂きました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	虐待に対する知識等を学び、日々の支援に繋げています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	対象とする児童はいませんが、契約時に丁寧な説明を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	基本的に、保護者の方を通じて情報を共有し、対応していますが、状況書や医師の指示書も提出いただいております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で情報共有しています。また、日々のミーティングで細かな情報共有を行い、配慮すべきところを把握し、支援にあたっています。	